



まず、今あるシーツから使おうと、土蔵の中を探しました。そうしましたら、昔（多分、昭和年代に製造されたと思われる）のシーツが出てきました。

シーツは使っているうちに、どうしても真ん中あたりが薄くなってきます。それを承知していたのでしょうか。昔のシーツは、その真ん中が厚くできていたのです。織りで厚くしているようです。

それに四隅の縫い代が少し内側に折り込まれて丁寧に始末してあります。

今やシーツは消耗品となり、そのような配慮はなされなくなってきました。でも、ひと手間かければ長く使うことができます。

薄くなってきたな、と思ったら、真ん中から横に切って、その切った辺をジグザクにかがって縫い代を始末します。次に、頭と足の方の辺を二枚重ねて、縫い合わせます。これで、少し短くはなりましたが、まだ厚みがあって、十分使える部分が、真ん中になりました。

縦横四つに切って、四隅が真ん中にくるように縫い合わせる方法もあります。

寝心地は、変わりありません。試してみませんか。